Section

01 編集で動画がもっと楽しくなる！

ここで学ぶこと
- 動画編集
- 動画編集でできること
- 演出

現代はスマートフォンの普及によって、誰でも手軽に動画を撮影することができる時代になりました。撮影した動画はそれだけでも楽しいものですが、「編集」を加えることで、より印象的なものにすることができます。

1 動画編集するとこんなことができる！

補足

編集とは

撮影した動画から必要な部分を抜き出し、順番を並べ替えて見やすくまとめることを「編集」といいます。動画にさまざまな特殊効果を加えたり、タイトルやBGM（音楽）を追加したりすることによって、テレビ番組や映画のような作品に仕上げていくことができます。

補足

動画の編集にはソフトが必要？

スマートフォンやビデオカメラでかんたんな編集ができる場合もありますが、複数の動画をつなげるといった複雑な処理や細かい編集作業をするには、本書で解説する「PowerDirector」などの専用のソフトを利用したほうがよいでしょう。

動画は、家族や友人との交流、結婚式やパーティー、ビジネス、SNSなど、あらゆる場面で利用される機会が増えています。それだけに、編集をして見やすく、楽しくした動画とそうでない動画には大きな差が出てきます。まずは、編集を加えることでどんなことができるかを見てみましょう。

① 複数の動画のつなぎ合わせ

動画からよい部分を選び出して、順番を入れ替えてつなぎ合わせることができます。

動画①

動画②

動画③

編集動画

重要用語

カット、シーン、シークエンス

「カット」とは、撮影した一つ一つの動画のことをいいます。一般的に、撮影開始から終了までのことを「1カット」といいます。
「シーン」とは、ある同じ場所（場面）で撮影されたカットのつながりのことです。
「シークエンス」とは、関連性の高いシーンをつなぎ合わせて作られた、物語性のある動画のまとまりのことをいいます。たとえば、運動会の各シーン（かけっこ、玉入れ、綱引きなど）をまとめたものがシークエンスです。どのようなストーリーのシークエンスにするかを考えながら編集していくと、よくまとまった動画になります。

重要用語

テロップ、タイトル、エンドクレジット

動画に表示される説明文（字幕）のことを「テロップ」といいます。また、動画の冒頭に「タイトル」を、動画の最後に出演した人や日付などを表示する「エンドクレジット」を入れると、作品としてまとまった印象を与えることができます。

② さまざまな効果を付けて演出

動画と動画の間に切り替え効果を入れることで、動画の流れをスムーズにしたり、メリハリを付けたりすることができます。

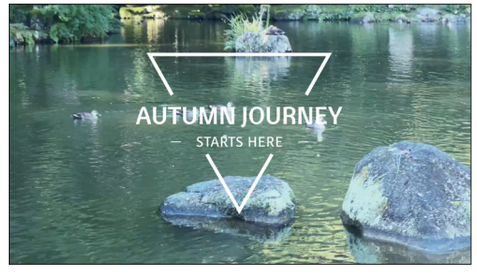
動画に効果を加えて、演出できます。

③ テロップや字幕、BGMやナレーション

場面に合わせてテロップや字幕、BGMやナレーションを入れることで、視聴者を動画の世界に引き込むことができます。

④ タイトルやエンドクレジットを入れて動画をまとめる

タイトルやエンドクレジットを入れることで、テレビ番組や映画のように仕上げることができます。

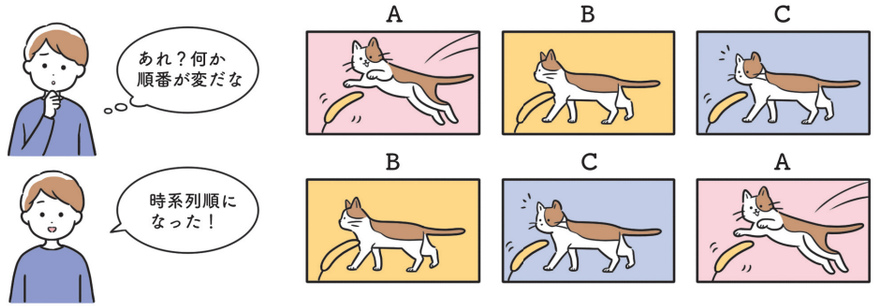


Section

16 ビデオクリップの順番を入れ替えよう

ここで学ぶこと
- ビデオクリップ
- 上書き
- 挿入

タイムラインに配置したビデオクリップは、ドラッグでかんたんに並べ替えることができます。本格的な編集の第一歩として、クリップの並べ替え方法を覚えましょう。



1 右のビデオクリップを左に移動する

補足

冒頭の位置に挿入する

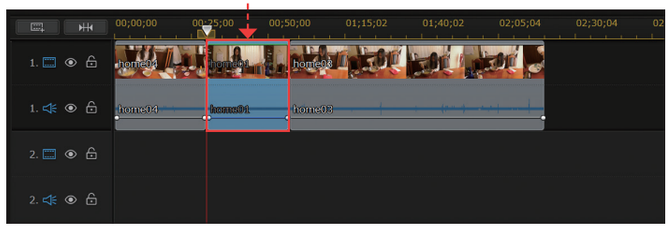
右にあるクリップを左にあるクリップの冒頭の位置までドラッグして［挿入］をクリックすると、右にあったクリップがそっくり左へ挿入されます。

1 タイムラインの右にあるクリップをクリックし、

2 左にドラッグします。　3 移動後の動作をクリックします。

［上書き］

右にあったクリップが左のクリップに上書きされます。



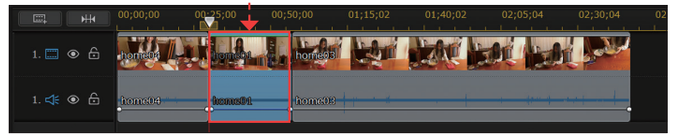
補足

挿入してすべてのクリップを移動する

［挿入してすべてのクリップを移動する］を選ぶと、タイムライン上にあるすべてのクリップが、右に移動します。

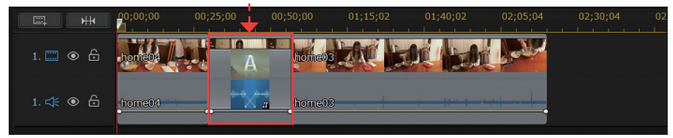
［挿入］

左のクリップの間に右のクリップが挿入されます（左のクリップは分割されて右のクリップの終了に合わせて右に移動します）。



［クロスフェード］

2つのクリップが重なった部分がぼんやりと徐々に切り替わるような動画になります。2つのクリップを重ねてつなぐときに使います。



2 左のビデオクリップを右に移動する

補足

トリミングして合わせる

［トリミングして合わせる］を選ぶと、クリップを移動して重なった部分が自動的にトリミング（削除）されます。

応用技

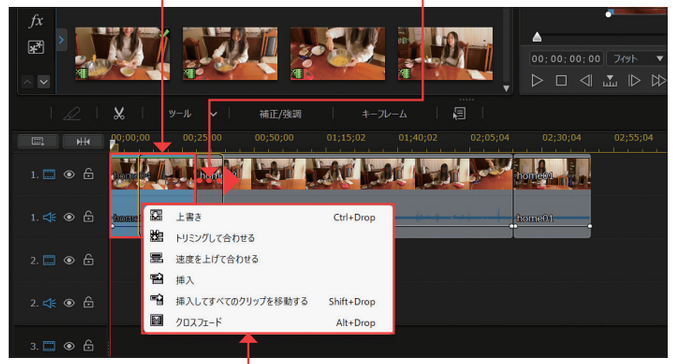
起承転結で構成する

動画編集の基本は、起こった出来事（シーン）のクリップを、時系列順に並べていくことです。また、小説や漫画、映画などの構成に使われる「起承転結」という構成は、動画編集にも参考になります。

起：物語の始まり
承：物語が発展
転：場面や状況が一転
結：物語の締めくくり

「転」の部分で、視聴者を引きつけるシーンをいれて、うまく締めくくりができると、よい動画作品に仕上がります。

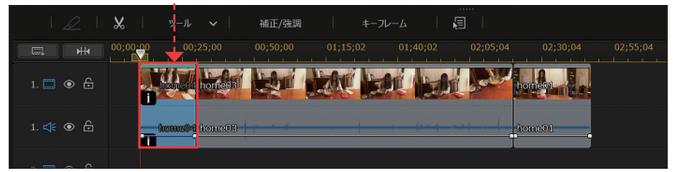
1 タイムラインの左にあるクリップをクリックし、　2 右にドラッグします。



3 移動後の動作をクリックします。

［速度を上げて合わせる］

左にあったクリップが高速再生され、次のクリップの開始までにクリップの内容が終了するように調整されます。



Section

25 切り替え効果を活用しよう

ここで学ぶこと
- 切り替え効果
- 活用例
- フェードイン／フェードアウト

切り替え効果には、クリップとクリップをスムーズにつなぐ役割のほか、時間経過や場面転換を示す、作者の意図や気持ちを見る人に伝えるなど、使い方次第でいろいろな効果が期待できます。ここでは代表的な活用例を紹介します。

1 切り替え効果を活用する

時間経過を示す

時間の経過を示したり、途中を省略するために切り替え効果を使用します。「ボックス」はクリップが内側にしぼんでいき、公園でダンスの場面とそのあとの街歩きの場面を切り替え、前の場面の流れを断ち切ります。

場面や気分の転換を示す

場面が大きく転換したことを伝えるため、切り替え効果を使用します。「ページロール」はクリップがくるくると巻き取られ、場所が室外から屋内へぱっと変わったことを示します。

補足
時間経過に便利な切り替え効果

「ワイプクロック」は、時計回りに回転して、時間の経過をイメージさせます。

補足
場面転換におすすめの切り替え効果

「ツイスト」は、画面全体がねじれて切り替わり、場面転換を印象付けます。

補足
オープニングにおすすめの切り替え効果

「フェード」は、ぼんやりした状態の画面から、徐々に動画が現れます。

補足
フェードイン／フェードアウト

フェードをプレフィックスに用いると、唐突に動きが始まる動画も「入り」が自然になるのでおすすめです（フェードイン）。ポストフックストランジションでは、動画の幕切れに余韻を残す効果があります（フェードアウト）。

補足
遊び心のある切り替え効果

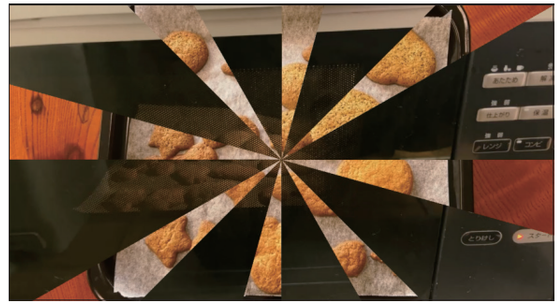
「飛行機」は、右上から飛行機、左下から船が現れます。

「星（カラー）」は、ビビッドな色の星が画面いっぱいに広がります。

動画のスタートを示す

新しい動画が始まることを伝えるため、プレフィックストランジションを使用します。「グランドオープニング」は扉が開くように場面が現れ、見る人にワクワクする期待感を誘います。

シンプルな動画に変化を付ける



ダイナミックな動きで、普通の記録風の動画も見栄えのする動画になります。「風車」は画面いっぱいに放射状の羽根が回転し、場面の切り替えに表情を付けています。

ポップでカジュアルな印象を与える

カラー図形を使った切り替え効果は、明るく楽しい雰囲気が伝わります。「ハート（カラー）」は赤いハートが画面を覆って切り替わり、ペットの動画や子ども向け動画におすすめです。

Section 42

ナレーションを追加しよう

ここで学ぶこと
- ナレーション
- 録音
- ボイストラック

編集中の動画を見ながら、各シーンにナレーションを追加してみましょう。PowerDirectorにはマイク録音の機能があり、かんたんにナレーションを録音することができます。

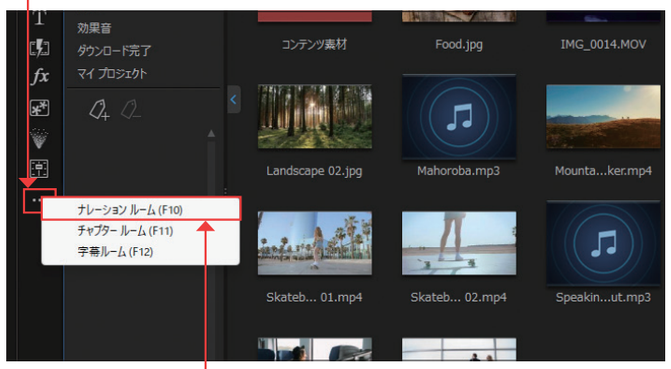
1 ナレーションを録音してタイムラインに配置する

ヒント

録音用のマイク

ディスプレイとパソコン本体が一体型のデスクトップパソコンやノートパソコンの場合は、パソコンにマイクが内蔵されていることが多く、パソコンに向かって話すことでナレーションを吹き込めます。マイクが内蔵されていないパソコンの場合は、外付けマイクをパソコンに接続することでナレーションの録音ができます。

1 パソコンにマイクを接続して、…をクリックし、



2 [ナレーションルーム]をクリックします。

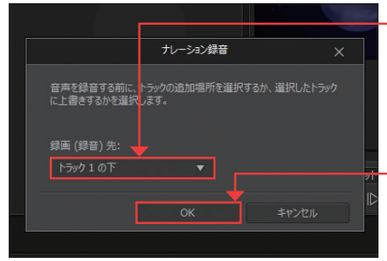
3 マイクに向かって音声を入れて音調を確認しながら、▬をドラッグして録音レベルを決定します。

4 ●をクリックします。

補足

ファイル名を変更する

録音したナレーションの名前を「Capture」から変更したい場合は、ファイルを右クリックして、[別名を編集]をクリックし、名前を変更します。

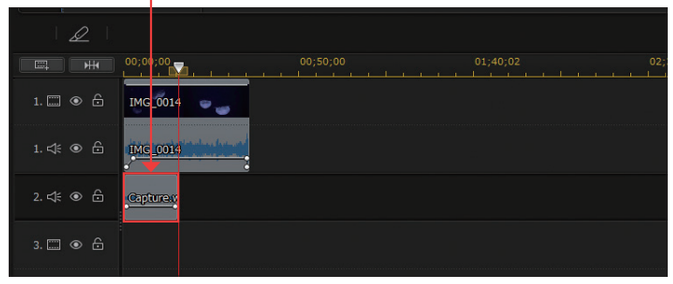


5 「ナレーション録音」画面で、「録画(録音)先」のプルダウンメニューをクリックし、挿入するトラック位置を選択したら、

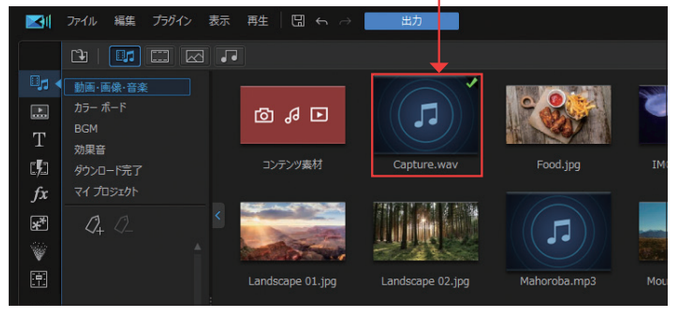
6 [OK]をクリックします。

7 「プレビュー」画面で動画を見ながら、ナレーションを吹き込みます。●をクリックして、録音を停止すると、

8 タイムラインにナレーションのクリップが作成されます。



9 録音したナレーションは、メディアルームに「Capture」の名前で登録されます。



Section 46

メニュー画面を作成してDVDやBlu-rayに書き込もう

ここで学ぶこと
- ディスク作成
- メニュー
- 書き込む

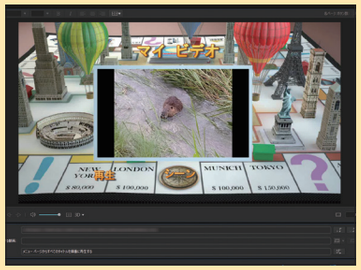
完成した動画をDVDやBlu-rayに書き込む際に、市販されているDVDビデオやBDビデオのようなメニューを作成することができます。ここでは、画像や動画を利用してオリジナルのメニュー画面を作成します。

1 ディスク作成画面を表示する

補足

プレビュー

画面の右側には、メニュー画面やチャプター画面のプレビューが表示されます。



1 80ページ手順2の画面で［ディスク作成］をクリックすると、「ディスク作成」画面が表示されます。

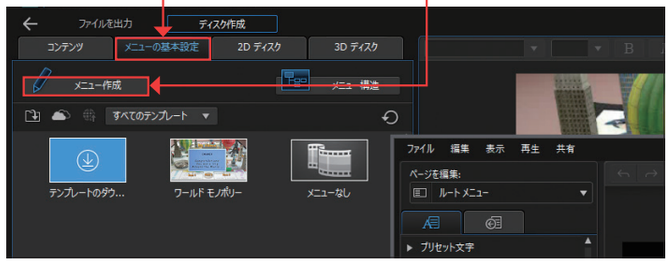
2 ［メニュー構造］をクリックすると、

3 現在のメニュー構造が表示されます。

2 メニューを作成する

1 上記手順1の画面で［メニューの基本設定］をクリックし、

2 ［メニュー作成］をクリックすると、



補足

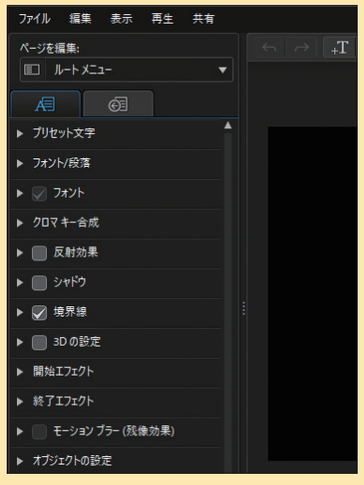
メニューのテンプレートのダウンロード

150ページ下の手順1の画面で［すべてのテンプレート］→［テンプレートのダウンロード］→［テンプレートのダウンロード］の順にクリックすると、「DirectorZone」で公開されているテンプレートをダウンロードすることができます。ダウンロードしたテンプレートはそのままメニュー画面やチャプター画面に使うことができます。

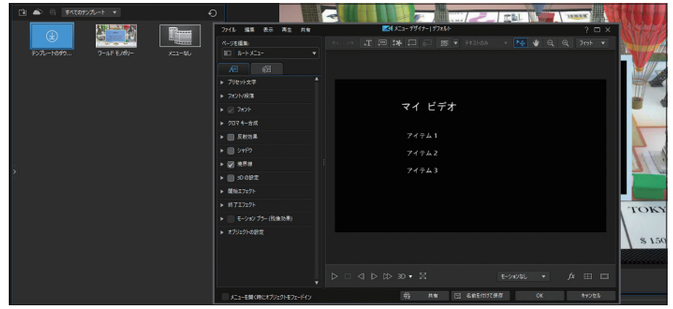
応用技

メニューをカスタマイズする

手順3の画面でメニューを自由にカスタマイズできます。左のメニューから追加・変更したい項目をクリックしてメニューを開き、設定を変更します。文字を追加したり、フォントを変更したりできるほか、文字の効果やエフェクトを変更したりできます。

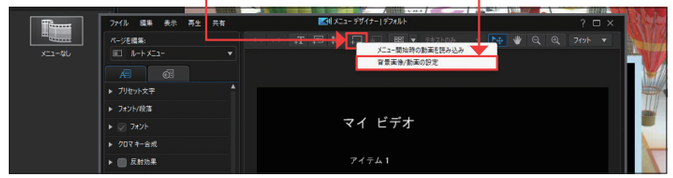


3 「メニューデザイナー」画面が表示されます。この画面からメニューを自由にカスタマイズできます（左の応用技参照）。

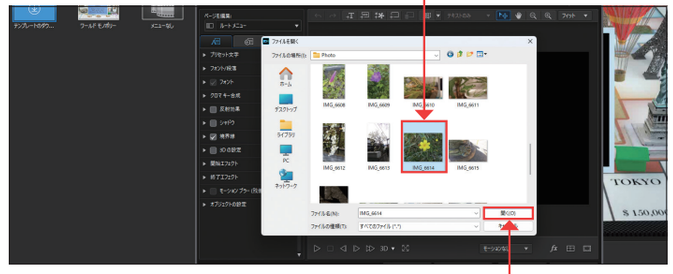


4 作成が完了したら［メニューなし］をクリックし、

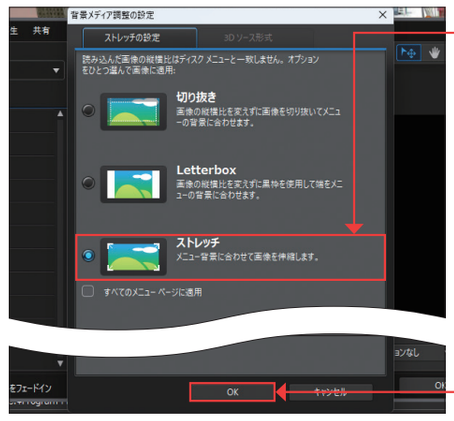
5 ［背景画像／動画の設定］をクリックして、



6 メニュー画面の背景に設定したい画像を選択して、



7 ［開く］をクリックします。



8 ［ストレッチ］をクリックし、

9 ［OK］をクリックします。